

山行報告書				山行NO	24-36
【期間】2024 年 5 月 11 日 ~ 2024 年 5 月 11 日【予備日】無				提出日	5 月 13 日
【山域・山名】札幌近郊 札幌150峰 中沢(64座目)金子沢(65座目)				処理日	5 月 14 日
【ルート】常盤 林道から					
担当	No	氏名	年	【成果、反省事項、その他】参加人員3名 夏山の予行演習 ・中沢と金子沢は中々聞きなれない山であるが、共に支笏湖へ向かう国道453号線より別々の道路からアプローチする150峰の山である。 ・距離も短く物足りなさは否めないが、夏山へ向けて良い訓練となった。 ・林道分岐や藪漕ぎでは現在地確認と地図読みを行い迷う事はなかった。 ・古田さんトビックス 中沢の出発点でジオグラフィカONするも表示される方角が狂っている。 電源を入れ直し5分ほどで回復したが、帰宅後確認すると、太陽フレアの影響と思われる。	
	32	F・Y	75		
SL	77	K・S	61		
CL記録	88	I・Y	67		
【コースタイム】(天候)				【行動記録】	
月日	時間	経過	天候	・常盤除雪センター到着し、トイレ小休憩。 ・常盤除雪センターを過ぎて常盤地区旧真駒内スキー場方面に右折。 ・真駒内川を渡って、常盤奥林道ゲート前に駐車。準備完了後出発。 ・しばらくは単調な林道を進む。林道はきれいに笹狩りされ整備されている。 ・気温の割に暑くもなく、木々の中を風が通り、心地よい。 ・林道には鹿の糞が多くあり、見事なクマの糞もあった。少し緊張する。 ・林道分岐で進行方向を確認。整備された左側ではなく細い右側を進む。 ・林道つきあたりよりピークを目指すると登る高さが増えるので、林道の高い地点よりピークを目指す。これより登山道はなく藪漕ぎ。 ・GPSと地図読みで進行方向を確認し笹藪に入る。笹はさほど濃くないが20分程歩いて中沢ピークに到着(64座目)。木々に囲まれ眺望は全くなし。 ・山頂標識は、「中沢」ではなく何故か「中の沢山」と表示? 標識も手作り。 ・小休憩して下山開始。途中で何度も進行方向を確認して20分で林道に到着。 ・ひたすら林道を下る。途中のクマ糞を棒でつついてみたら柔らかくビックリ! ・下りはペースが上がり、登り85分に対して下り55分でゲートに到着。 ・国道に戻り金子沢に移動。滝のカントリークラブへ続く道のポケット部に駐車。 ・古田さんが以前登った時には民地に入らぬように注意したとの事で、道路よりピンクテープを頼りに直接斜面を登るが、わずか数十m登り登山道に合流する。 ・整備された登山道ではないが、迷うことなくピークに向かう事ができた。わずか10分程度進むと山頂標識を発見、金子沢ピークに到着。(65座目) 山頂標識も手作りで、以前の標識も放置されていた。 ・小休憩して周りを見渡すとまだまだ細いがタケノコを発見、さっそく試食。 ・同じ道を下山開始、わずか10分で登り口に到着。・往復30分で1座制覇した。	
	8:15	常盤除雪センター	晴れ		
	8:25	常盤奥林道ゲート着(c250) 出発 林道歩き	晴れ		
	9:50	林道分岐 林道終点 藪漕ぎ	晴れ		
	10:10	中沢ピーク(c507)	晴れ		
	10:30	林道戻り	晴れ		
	11:25	常盤奥林道ゲート着(c250) 移動	晴れ		
	12:00	金子沢登山口着	晴れ		
	12:10	金子沢ピーク(c316.8)	晴れ		
	12:30	金子沢登山口着	晴れ		
					
					